

特定非営利活動法人 岐阜県断酒連合会

歴史年表

岐阜県内断酒活動の芽生えは、昭和 41 年、土岐市聖十字病院にアルコールの中毒患者、畑中実さんが中心となつて、高知県の下司病院の断酒会に関する記事を読み聖十字病院医師の指導を得て断酒グループを結成。

- 昭和 41 年 8 月 21 日 土岐市聖十字病院、院内に院内断酒会(聖友断酒会)として発足、
昭和 45 年 8 月 高山市国府町にある須田病院内に、県内 1 番目の断酒会が(高山断酒会)として発足しました。
- 昭和 47 年 4 月 (聖友断酒会)は、地域断酒会として、「東濃断酒新生会」と改め、2 番目の断酒会が再発足しました。
- 昭和 49 年 12 月 岐阜断酒新生会が発足しました。
昭和 50 年 2 月 4 番目の断酒会が赤十字病院内に「岐阜日赤断酒友の会」が発足しました。
- 昭和 50 年 4 月 高山、東濃、岐阜、岐阜日赤の 4 断酒会は大同団結し「岐阜県断酒連合会」を設立し、と同時に社団法人全日本断酒連盟に登録加盟しました。
- 昭和 60 年 「岐阜日赤断酒友の会」が消滅、
昭和 60 年 10 月 1 日 岐阜断酒新生会より細分化して、大垣市を中心とした、「岐阜西濃断酒会」が発足しました。
- 昭和 60 年 11 月 19 日 岐阜県精神保健協会、協会長表彰を受ける、
平成 8 年 4 月 1 日 岐阜中濃地方に「中濃断酒会」が発足しました。
平成 15 年 10 月 31 日 全国精神保健福祉大会(兵庫県、神戸市にて開催)全断連関係、団体の部で厚生労働大臣表彰を受賞する
- 平成 16 年 6 月 NPO 法人を取得し、行政・医療の協力を得ながら一般市民向けの啓発活動を行います。
- 平成 21 年 5 月 1 日 東濃断酒新生会より細分化して、恵那市を中心とした「東濃東部断酒会」が発足しました。
- 平成 25 年 1 月現在、NPO 法人、岐阜県断酒連合会は東濃断酒新生会・高山断酒会・岐阜断酒新生会・西濃断酒会・中濃断酒会・東濃東部断酒会・の 6 断酒会で、登録会員 48 名です。

NPO 法人、岐阜県断酒会連合会
事務局 中川勝美